

事 務 連 絡
令和3年6月1日

各都道府県 衛生主管部（局） 御中

厚生労働省健康局健康課予防接種室

ワクチン冷蔵移送に係る保冷バッグ使用方法の変更について

「新型コロナウイルスワクチン接種に係る冷凍ワクチンの冷蔵移送について（令和3年2月10日付け事務連絡）」において、ファイザー社のワクチンを基本型接種施設から連携型接種施設及びサテライト型接種施設への移送時、または、巡回接種時の持ち運び時に使用する冷蔵移送用保冷バッグを原則、基本型接種施設及び責任医師を決めて、市町村が管理する場所に厚生労働省から供給されるディープフリーザーを設置する施設（以下「基本型接種施設等」という。）に配布してきたところです。

今般、夏季季節を迎えるにあたって、別添のとおり、ワクチン冷蔵移送に係る保冷バッグの使用方法を変更することとします。

つきましては、貴管下関係機関等への周知をお願いいたします。

保冷バッグの構成

(外気温35°C環境下で8°C以下を12時間保持)

①外装

素材：ターポリン生地

寸法：W358×D300×H295mm

内包部分

素材：発泡スチロール (EPS容器)

板厚：約45-50mm

②アルミ内箱

寸法：W207×D148×H59mm

③バイアルホルダー

寸法：W204×D145×H48mm

※50本収納可能 (バイアル寸：16.25φ×H31mm)

④保冷剤 (3°C融点保冷剤) 4枚

充填量：480g×4枚=1,920g

寸法：W220×D140×H22mm (1枚分)

①



保冷バッグ
使用方法を貼付



②



③



④



保冷バッグの使用法

(1) 前日の準備(移送開始12時間以上前) :

- ①冷凍庫 (約 -20°C) に保冷剤4枚を投入し、凍結させる。
- ②冷蔵庫 ($2\sim 8^{\circ}\text{C}$) に、**バイアルホルダーを中にセットし上蓋を閉めたアルミ内箱を投入し、予冷する。**



(2) 移送**30分前**(時間厳守) : **必ず実施のこと**(バイアル再凍結を防止) 冷凍庫から、保冷剤4枚を取り出して、**常温環境($15^{\circ}\text{C}\sim 25^{\circ}\text{C}$)に置いておく。**

(3) 移送直前 : 以下の手順でセッティングを行う。

- ①保冷剤 1 枚を保冷バッグの床面に置く。
- ②冷蔵庫からアルミ内箱 (バイアルホルダー入) を取り出して、
①の保冷剤の上に置く。
- ③アルミ内箱の上蓋を開けて、ワクチンをディープフリーザーからバイアルホルダーへ速やかに移し、アルミ内箱の上蓋を閉める。
- ④保冷剤 2 枚をアルミ内箱の両脇に差し込む。
- ⑤上蓋を閉めたアルミ内箱の上に最後の保冷剤 1 枚を置く。
- ⑥発砲スチロールの蓋を閉め、保冷バッグの蓋を閉める。



保冷バッグ



アルミ内箱



バイアルホルダー
(バイアルはダミー)



保冷剤
(3°C 融点保冷剤)



前日の準備



移送30分前



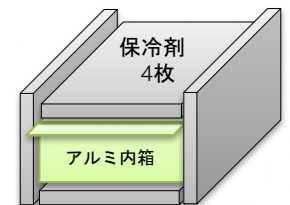
①



④



⑤



保冷バッグの使用方法

(1) 前日の準備(移送開始12時間以上前) :

- ①冷凍庫 (約 -20°C) に保冷剤4枚を投入し、凍結させる。
- ②冷蔵庫 ($2\sim 8^{\circ}\text{C}$) に、**バイアルホルダーを中にセットし上蓋を閉めたアルミ内箱を投入し、予冷する。**



(2) 移送**30分前**(時間厳守) : **必ず実施のこと**(バイアル再凍結を防止) 冷凍庫から、保冷剤4枚を取り出して、**常温環境($15^{\circ}\text{C}\sim 25^{\circ}\text{C}$)に置いておく。**

(3) 移送直前 : 以下の手順でセッティングを行う。

- ①保冷剤1枚を保冷バッグの床面に置く。
- ②冷蔵庫からアルミ内箱 (バイアルホルダー入) を取り出して、
①の保冷剤の上に置く。
- ③アルミ内箱の上蓋を開けて、ワクチンをディープフリーザーからバイアルホルダーへ速やかに移し、アルミ内箱の上蓋を閉める。
- ④保冷剤2枚をアルミ内箱の両脇に差し込む。
- ⑤上蓋を閉めたアルミ内箱の上に最後の保冷剤1枚を置く。
- ⑥発砲スチロールの蓋を閉め、保冷バッグの蓋を閉める。



保冷バッグ



アルミ内箱



バイアルホルダー
(バイアルはダミー)



保冷剤
(3°C 融点保冷剤)



移送30分前



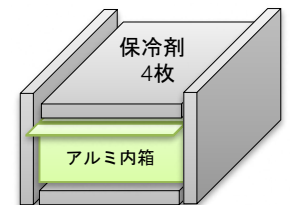
①



④



⑤



参考

変更部分に
アンダーラインを
入れたもの